

利用されているアーカイブ資料(3) 「結核予防デー」から「結核予防週間」への変遷

結核研究所図書室

TBアーカイブ事務局 佐藤 和美

最近、結核予防会に徳島県立文書館より、現在の結核予防週間(9月24日～30日)はいつから始まったのかという問い合わせがあった。それは、その文書館に保存されている昔の資料(絵葉書)には、「4月27日結核予防デー」とあることからの質問である。添付された資料によれば、「徳島縣結核豫防會」が懸賞で当選した絵葉書数枚をセット(定価五銭)で作成したらしい(図1, 2)。

そこで、我々の手元の資料を探してみると、結核予防デーに関する数枚のポスターがあった。その一つが「結核豫防デー四月二十七日長野縣結核予防協會・日本赤十字社長野支部」(図3)とあり、裏に日付が「昭和十一年四月二十七日」と書かれている。結核予防デーのポスターは、これ以外にも7枚あり、京都府結核予防協會のものが5枚、長野県結核予防協會のものがもう1枚ある。どれも結核予防デーの日は4月27日である。

かつて結核予防協會の下で、全国的取り組みとしての「4月27日に結核予防デー」があったことは資料から知ってはいたが、現在の結核予防週間へ繋がってきた流れに関しては意識していなかった。このポスターは年代からも、日本結核予防協會の時のものである。日本結核予防協會は、大正2年2月に北里柴三郎博士が矢野恒太氏らの支援を受けて設立し、昭和14年12

月まで続いたが、結核予防会設立と共に発展的に解消された(詳しくは「複十字」No.394工藤翔二理事長による「結核予防会前史—「日本結核予防協會」と北里柴三郎博士、矢野恒太氏」を参照されたい)。そしてそれまでの各県や全国的な国民運動としての歩みや精神は引き継がれ、結核予防週間に繋がってきたと思われる。

結核アーカイブ資料室に日本結核予防協會発行の月刊誌「人生の幸福」(図4)が大正14年から所蔵があるので、早速調べてみた。なんと第28巻大正14年4月25日発行は、「結核豫防デー號」であった!内容を見ると、驚いたことに日付は三月二十七日となっている!しかもその日に日本結核予防協會理事長でもある男爵北里柴三郎博士が記念のラジオ放送を約15分行ったとある。まさにラジオ放送は大正14(1925)年に開始され、「これが我國にて公衆衛生教育にラヂオを利用した嚆矢(物事の初め)である」とある。

同じ日、各地でも記念行事が行われ、東京市は、一ヶ月以上前から準備し、その日に大々的に自動車宣伝隊や飛行機宣伝、ビラ配り等パレードを行った。他の各県の予防協會や関係団体も記念行事を行い、パンフレット、ポスター等を配布したりしている。

だがどうして3月27日なのか。同じ巻の33頁に「結核豫防に関する通知」が載っていた。「一、毎年三月

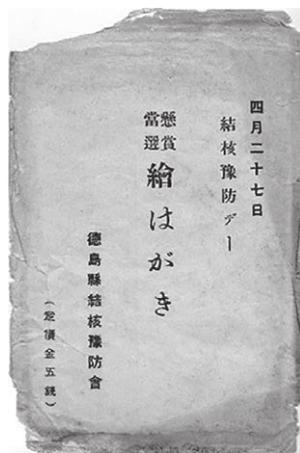


図1. 絵葉書封筒
(徳島県立文書館提供)



図2. 絵葉書
(徳島県立文書館提供)

二十七日（旧）結核豫防法発布の日）を以て『結核豫防デー』と定む」とい書いてある。本来は3月27日だったのだ。

しかし、翌年の第31巻大正15年1月15日発行に「會告」があり、「客年（昨年）十月広島縣巖島町に於ける第十一次全国結核豫防綜合會の決議に依り本會へ御委託相成候其他に付ては左記の如く御取計相成候也」「一、豫防デーの変更四月二十七日と決定致し居候に付可然御配慮相煩し度候」と書かれている。

同じ巻の67頁に「第十一次全国結核豫防綜合會」の記録があり、中に「結核豫防デー変更の件」とあった。「本件は福岡、山口、佐賀、徳島、長野、沖縄、愛知の諸縣から期せずして提出されたもので豫防法施行の記念日たる3月27日に施行したが、学校の休暇、その他不便のことが多く変更に興議ないところであるが、中略、協議の結果一月繰延、四月二十七日と決定。」とあり、大記念日はあっさり4月27日になったようだ。

さらに、北海道の結核予防デーは「3月には尚ほ積雪山をなし寒威凛冽の節なれば五月二十七日を期して結核予防デーを實行されたり。」とある。四月に変更後は、「本道は四月二十七日は到る處未だ寒風強く且つ積雪中にあるを以て、中略、六月二十七日に延期し毎年全道一斉に施行する」とある。

昭和14年に設立された結核予防会では、昭和24年

に第1回結核予防週間が11月10日に開始された。その後、期日についても変動があり、昭和25年には5月25日～、26年には10月25日～、27年は5月の結核半減記念大会時に繰り上げて実施、28年より36年までは10月25日～、37年より9月24日～に改められ、今日に至っている。（結核予防会「五十年のあゆみ」1989年より）

このポスターには、標語がもう一つ、「早く健康診断を相談所は警察署にお尋ね下さい」がある。当時、健康に関する相談所は保健所ではなかった。現今、新型コロナウイルス感染症も窓口はまずは保健所である。しかしこのポスターが作られた昭和11年には、まだ保健所も厚生省もできていなかった。昭和12（1937）年に保健所法が公布され、翌年13（1938）年に、内務省から分離される形で厚生省が設立されたのだ。それまでは同じく内務省の所掌であった警察庁が窓口となったようだ。「昭和3年に警察庁衛生部内に『結核相談所』がつくられた」とある。（『結核のあゆみ：結核予防会創立二十周年記念』岡西順二郎著、1969年より）

このように先の絵葉書やポスターから、歴史を読み取ることができる。🐾



図3. 結核予防デーポスター。タイトル下に4月27日とある

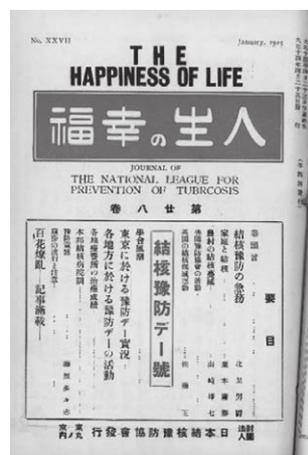


図4. 日本結核予防協会発行月刊誌「人生の幸福」第28巻